

# ATSUMA LOVERS

グレーのスーツに身を包み、メガネの下から穏やかなまなざしで、校長室に招き入れてくれました。この春、厚真高校の23代目校長として着任しました。「この学校では、初の女性の校長なんですよ」。優しさがにじむ歯切れ良い言葉が、会話を弾ませます。着任直後の清水さんを訪ね、話を伺いました。



北海道厚真高等学校 校長  
Vol.13 しみず みゆき  
清水 美由紀さん(58歳)

## 視野の広い生徒に育てたい

就職する生徒もいて、高校生活は社会で自立するための重要な準備期間でもあります。社会に出るために、視野の広い人に成長して欲しいと願っています」。

今春、大学生になった長男を札幌市に残して単身赴任しました。長男とは、無料通信アプリで近況報告し合うそうです。趣味は、料理やお菓子作り。早速、自宅でシュークリームを焼き、職場の先生におすそ分けして喜ばれました。

「一見、まじめそうですが、実はそうでもないんです…」と苦笑いする仕事もありました。

コロナ禍で、リモート授業を取り入れるなど制約もあります。時期を見ながら、生徒たちの地域活動を通じて地域に根差した教育の実現を目指したいと考えています。

「生徒一人ひとりの成長を促すのが私の役目。時には、母親のような存在でありたいですね」

滝川市出身で、幼少時代は田園風景を見て育ちました。希望がかなって教員になり、愛別高校(平成23年に閉校)を皮切りに、苫小牧南高校や札幌稲北高校(現・札幌あすかぜ高校)などで勤務。奈良井江商業高校で教頭になり、前任のニセコ高校で校長になりました。胆振地方での勤務は、苫小牧南高以来20年ぶりです。当時、教員だった苫小牧南高校には、厚真町から通学する生徒もいました。「地

区懇談会で、何度も町にも通いました。引越してまだ日は浅いですが、変わらぬ田園風景に懐かしさを覚えます」。

本年度の在校生は70人。「都市部と違い、生徒一人ひとりを手厚く見てあげられるため、理想的な教育環境だと思っています」と清水さん。自ら「あったかい学校」と称し、学力に加え、生徒の創造力とコミュニケーション力を高めたいと考えています。「高校卒業後に

あなたにとっての  
愛すべき厚真を投稿してください

フェイスブック  
@atsumatownhokkaido

Instagram  
atsumalovers

ハッシュタグ#atsumaloversをつけてフェイスブックまたはInstagramに投稿してください。

# ATSUMA LOVERS